

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	35200801	事業名称	文化財センター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 5 地域資源の活用 - ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財センター	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に所蔵する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。	文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する講座等の開催のほか、企画展を開催する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	文化財資料の展示・収蔵・学習を行う施設として文化財センターを運営した。また、小中学校の歴史教室社会科見学、団体見学への対応を行った。	項目	実績
		来館者数	5,266 人
事業の成果 【定性的評価】	文化財資料の整理・保管、常設展示を行い、また、小中学生対象の歴史教室の実施や社会科見学への対応により、文化財愛護精神を養う一助とした。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出		
	単位	人	指標の種別	結果				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	4,922 達成	4,342 達成	5,266 達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	004細目	01細々目	文化財センター施設運営費	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	1,228	2,707		2,117	1,790	1,790		
決算額(B)=(C)+(D)	1,209	2,544		1,324				
財源※	特定財源(C)	193	309		192	199		
	一般財源(D)	1,016	2,235		1,132	1,591		
概算人件費(E)	12,480	12,640		12,640	12,640	12,640		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,689	15,184		13,964	14,430	14,430		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	歴史教室の実施や社会科見学への対応等によって来館者の確保に努めた。今後もPR等により来館者の増加につなげたい。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	35200232	事業名称	郷土資料館施設運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	郷土資料館	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。	文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	企画展2回(「川口味ものがたり〜水が育んだ味噌・ソース・酒〜」展、「今、思い出す。懐かしいあの頃の暮らし。〜昭和の遊び〜」展)、講座3回(ソース作り体験教室、味噌作り体験教室、醸造文化めぐりバスツアー)を実施した。また社会科見学対応を実施した。	項目	実績	単位
		企画展 参加者数	3,720	人
講座 参加者数	68	人		
事業の成果 【定性的評価】	市民に郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を深めていただくとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館実施事業来館・参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館・参加者数の推移を基に算出					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	3,154 未達成		3,429 未達成		4,364 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	007細目	01細々目	郷土資料館施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	3,776	5,918		6,951		6,531		6,531		
決算額(B)=(C)+(D)	3,552	5,119		6,411						
財源※	特定財源(C)	1,102		1,049		1,068		1,044		
	一般財源(D)	2,450		4,070		5,343		5,487		
概算人件費(E)	14,820		15,010		15,010		15,010		15,010	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	18,372		20,129		21,421		21,541		21,541	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	旧田中家住宅の重要文化財指定を記念して企画展を実施し、また旧田中家住宅をサテライト会場にするなど、関連イベントを増加して実施し、効果の拡大を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のための行事中止や臨時休館により、来館者数に若干の影響があったが、今後も内容や実施方法を充実し、来館者増に努めていきたい。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

事業コード	35200801／35200232	事業名	文化財センター施設運営費 郷土資料館施設運営費
部会名	第一部会	担当課	文化財課

I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	3	2	2	2	3	4	適正 適正な事業運営がなされている
B委員	4	3	3	3	3	3	概ね適正 工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	3	2	2	2	2	2	改善の必要あり 概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	3	2	2	2	2	2	
E委員	3	3	3	3	2	1	抜本的見直し 抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
部会全体	3	2	2	2	2		

II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	文化財の保護・活用は、重要である。
2	①趣旨・目的及び達成手段	必要な施設であると思う。
3	①趣旨・目的及び達成手段	市の歴史、文化を市民に周知する事業は必要である。
4	①趣旨・目的及び達成手段	地元住民が減少する中で、移転者や外国人居住者にも市の歴史を周知することは良いことであり、また、地元住民にもあらためて郷土愛を持ってもらえることも良いことだと思う。
5	①趣旨・目的及び達成手段	残していくべき事業だと思う。
6	②事業の効果	さらなる工夫により、集客につながる取り組みを進めていくことが必要である。
7	②事業の効果	新しい取り組み等にチャレンジしていることは理解できるが、PR不足であることは否めない。
8	②事業の効果	若い世代に伝わるあらゆる伝達手段（広告媒体）を用い、さらに事業の効果を広めてほしい。
9	③事業の効率化	外部の力を活用してイベントを実施しているが、さらに活用することで、より幅広く、魅力的な事業が展開できるのではないか。

No.	評価の観点	評価コメント
10	③事業の効率化	PRをはじめ、改善すべき点が多数ある。
11	③事業の効率化	集客性のある博物館を目指すのであれば、民間の企画制作会社等に委託し、デザインのアドバイスを受けたりするのもよいのではないか。
12	④課題解決への取り組み	担当課が非常に努力していることは評価できるが、さらなる取り組みを期待したい。
13	④課題解決への取り組み	担当課が努力していることは理解できるが、さらなる取り組みが必要である。
14	④課題解決への取り組み	以前から市で検討している川口駅への中距離電車乗り入れ停車計画を実現し、交通の利便性が高まることで、さらなる集客が図れるのではないか。
15	④課題解決への取り組み	インターネットを駆使し、子どもが興味を持つような取り組みを行っていると思う。小学校でもPCの授業が開始しているため、授業の中で活用してもらってはどうか。
16	⑤今後の事業の方向性	統合という方向性が示されていることもあり、概ね適正である。また、新型コロナウイルスに関する対応も含め、着実な取り組みを期待したい。
17	⑤今後の事業の方向性	移転・統合について漠然としているため、具体的に検討すべき時期なのではないか。
18	⑤今後の事業の方向性	施設の統合等、改善点は多数あるが、新型コロナウイルス対応で集客が難しい中、今後も様々なコンテンツを駆使して頑張してほしい。
19	⑤今後の事業の方向性	撤退予定の大型百貨店の跡地に移転し、併せて民間企画制作会社を活用し、事業拡大してはどうか。
20	⑤今後の事業の方向性	歴史や文化を残していくことは必要なため、利便性の良いところへの統合、移転を進めるべきである。
21	⑥事業全体を通した総合的な評価	毎年異なるイベントを企画するのは大変だと思うが、一生懸命頑張っているのが非常に評価できる。さらにリピーターを増やせるよう、今後も継続して頑張してほしい。
22	⑥事業全体を通した総合的な評価	毎回異なるイベントを企画しているのは良いと思う。
23	⑥事業全体を通した総合的な評価	引き続き、集客を増やす工夫をしてほしい。

【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
3 概ね適正	市の文化財を守り、活用していく意義は非常に大きい。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	「3 概ね適正」との意見も多数あったが、「2 改善の必要あり」としている。魅力的な施設は、より大きく、さまざまなコンテンツを駆使し、集客力も高いことから、取り組み内容を効果的に伝えるという点では、改善の必要がある。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	現在も外部の力を活用し、イベントを行っているが、さらに外部の力を活用することで、より魅力的な事業を展開することができる。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	「3 概ね適正」との意見も多数あったが、「2 改善の必要あり」としている。さまざまな取り組みを行い、努力しているという点では高い評価であったが、今後、さらなる取り組みに期待したい。さまざまなツールを駆使し、効果的にPRすることで、さらなる集客が望める。小学校でもインターネットの授業を行っているため、その授業等を活用してもよいのではないか。
⑤今後の事業の方向性	
2 改善の必要あり	「3 概ね適正」との意見も多数あったが、「2 改善の必要あり」としている。統合という方向性が出ているが、あまり具体化されていないため、今後の方向性を明確に打ち出すべきではないか。利便性のよい立地に大きな施設を建設すれば、魅力的な施設になるとの意見もあった。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	新型コロナウイルス対応で課題が多々あると思うが、ぜひ頑張ってもらいたい。